

令和2年度山口県医療機関経営セミナー 〈書面開催〉

[報告:常任理事 沖中 芳彦]

1. 特別講演「医療と消費税、事業承継税制」

日本医師会副会長 猪口 雄二

2. 特別講演「クリニックの事業承継」

TKC 医業・会計システム研究会／

税理士法人 林・小代会計事務所 林 浩治
(講演1、2の資料をご希望の方はお申し出ください。)

3. 医業承継に関するアンケート調査結果

山口県医師会常任理事 沖中 芳彦

1. 調査の趣旨

少子高齢化や人口減少に伴う需要減退や医療機関の後継者不足を理由として、事業承継が円滑に進まないケースが深刻な社会問題となっており、将来、地域医療に悪影響を与えることが懸念される。そこで、県内の医業承継の実態や医療機関管理者の考えを把握し、県民に安心安全な医療を継続して提供できる地域づくりに寄与することを目的に、山口県と共同でアンケート調査を行った。

2. 調査の対象

県内の無床診療所と有床診療所の管理者で、日本医師会A1会員935人(2020年6月現在)。

3. 調査の方法

山口県医師会からアンケートを都市医師会経由で対象機関に配付、各機関にて回答後、県医師会へFAXで送信していただいた。

調査期間は令和2年7月～8月である。なお、アンケートは県が原案を作成し、県医師会で微修正を行った。

4. 回答状況(表1)

回答率は39.2%(回答367機関/対象935機

関)であった。

5. 質問内容

Q1 貴院の基本情報(所在地、管理者の年齢、標榜科目、無床/有床)。

Q2 「貴院における今後の承継」をどのようにお考えか。

Q3 医業承継で、後継者候補として考えている方はおられるか(複数回答可)。

Q4-1 Q3の回答の理由。

Q4-2 もし、ほかに適切な後継者候補がいた場合、どのようにお考えか。

Q5 医業承継での課題と思われることは。

Q6 どのような支援策があると良いか。

Q7 Q2の理由。

Q8 医業承継に関してのご意見ご要望等(自由意見)。

Q9 医療機関名(任意)

6. 結果

結果は8つの医療圏ごとに集計した。

Q1: ①年齢、診療形態(表2)

表1. 回答状況

回答率 39.2%
回答機関 367機関
対象機関 935機関

医療圏	回答機関数
下関	86
宇部・小野田	63
長門	6
萩	13
山口・防府	71
周南	62
柳井	26
岩国	38
記載なし	2
山口県全体	367

Q1：②主な標榜科目（表3）

Q2：「今後の承継」をどのようにお考えか（表4）

Q3：承継する場合の後継者候補について（回答対象はQ2で「承継を考えていない」、「承継しない」以外の方）（表5）

Q3：「その他」の自由意見

- ・年齢的に、まだ考えていない。
- ・子どもが医師になれば子どもに、そうでなければ売却等を考えている。
- ・承継直後でまだ考えるべき時期ではないが、場合によっては、あらゆる事態を想定しておこうと思っている。
- ・同じ科目を専攻している長男がいるため、

「親族」と回答したが、同じ科の医師であれば誰でもよいと思う

Q4-1：Q3で「親族」と回答した理由について（表6）

表4. Q2:「今後の承継」をどうお考えか？

	1年以内 (含「すぐ に」)	1-2年 後	3-5年 後	5-10年 後	10-20 年後	20年以 上	考えて いない	承継し ない
下関	0	7	9	12	19	9	19	10
宇部・小野田	3	2	5	12	17	7	9	7
長門	0	0	0	2	1	0	3	0
萩	0	0	1	0	3	0	3	5
山口・防府	1	2	11	13	16	3	16	8
周南	1	1	3	8	17	5	16	11
柳井	0	0	2	1	3	3	8	9
岩国	1	3	3	8	7	4	6	5
記載なし	0	0	0	1	0	0	1	0
計	6	15	34	56	83	31	80	55

表2. Q1: 貴院について、教えてください①・・・年齢、形態

	無床	有床	計	平均年齢(歳)
下関	75	11	86	60.6
宇部・小野田	60	3	63	61.1
長門	6	0	6	63.0
萩	12	1	13	58.2
山口・防府	65	6	71	62.3
周南	60	2	62	60.7
柳井	19	7	26	61.1
岩国	35	3	38	62.2
記載なし	2	0	2	68.0
計	334	33	367	

表5. Q3: 承継する場合の後継者候補は？（回答対象はQ2で「承継するつもりはない」以外）

	親族	親族以外の 個人	他の機関	その他	考えて いない
下関	36	15	9	3	27
宇部・小野田	34	13	2	4	11
長門	3	1	1	0	3
萩	4	0	0	0	4
山口・防府	34	15	1	1	20
周南	27	12	4	3	16
柳井	3	5	2	1	8
岩国	17	10	2	0	11
記載なし	2	0	0	0	0
計	160	71	21	12	100

表3. Q1: 貴院について、教えてください②・・・主な標榜科目

	内	外	児	整	耳鼻咽	皮	泌	眼	精	産婦	麻	放	心内	脳神 外	救急	計
下関	47	3	5	11	4	5	1	4	3	1	0	0	0	2	0	86
宇部・小野田	29	6	4	4	5	3	1	3	1	2	0	2	0	2	1	63
長門	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
萩	4	1	1	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	13
山口・防府	38	2	8	5	5	4	1	3	1	2	0	0	0	2	0	71
周南	33	1	8	4	2	6	0	3	2	2	0	0	1	0	0	62
柳井	15	2	0	2	1	0	1	2	0	1	0	0	0	2	0	26
岩国	23	2	1	3	3	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	38
記載なし	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	194	17	27	30	22	23	5	19	8	9	0	2	1	9	1	367

表6. Q4-1: Q3で「親族」と回答した理由は？

	親族以外に 継がせない	適切な人が いない	税制上	その他
下関	22	12	0	2
宇部・小野田	16	14	0	3
長門	1	2	0	0
萩	3	1	0	0
山口・防府	18	10	2	3
周南	14	9	0	2
柳井	2	2	0	0
岩国	9	5	1	2
記載なし	1	1	0	0
計	86	56	3	12

Q4-1:「その他」の自由意見

- ・親族が継ぐかは今のところ不明。
- ・親族内に立候補者がいる。
- ・未定。
- ・後継者はいるが、「継ぐ」と言うかどうか不明。
- ・すでに子供に継いでもらっている。
- ・地域にとって、それがよいと思われる場合に、そうする。

Q4-2: Q4-1 で後継者候補を「親族」と回答した人のうち、「親族以外に継がせるつもりはない（親族以外は考えていない）」と答えた人以外で、もし、適切な候補者がいたらどのようにされるか（表7）

Q5: Q3 で「親族以外」と答えた方へ、承継で課題となることは何か（複数回答可）（表8）

Q5:「その他」の自由意見

- ・自分はまだ若く、子供も小さいので、具体的に考えていない。
- ・医学部に入った親族がいない
- ・現在、親子間で承継中。
- ・子が医師になるかわからない。
- ・高齢化にともなう人口減少が進んでおり、閉院も考えてよい。
- ・今月から将来を見据えて、医学部に一人入っている。
- ・未来の話。
- ・移住市の未来像が全く見えない。
- ・具体的に考えたことがなかった。
- ・過疎化のため、経営が困難。

Q6: どのような支援策があると良いか（複数回答可）（表9）

Q6:「その他」の自由意見

- ・看護師確保のサポート。
- ・国が明確な地域医療対策（コロナ禍含め）を打ち出さないといけない。
- ・すでに約10年間、一緒にしているため、各々の特徴を生かして診療している。私自身可能な限り補助してやればよいと考えている。できれば55歳ころまでには、完全継承したいと思っている。たしかに「マッチング体制づくり」について悩んだが、お互いに話し合っ決めてるしかない。

表7. Q4-2:Q4-1で「親族以外に継がせるつもりはない」と答えた人以外で、もし、適切な候補者がいたら？

	是非継がせたい	条件次第で継がせたい	継がせない
下関	5	15	1
宇部・小野田	4	13	1
長門	0	1	0
萩	0	0	1
山口・防府	1	14	0
周南	0	13	1
柳井	1	2	0
岩国	4	7	1
記載なし	0	1	0
計	15	66	5

表8. Q5:Q3で「親族以外」と答えた方へ、承継で課題となることは何？（複数回答可）

	適切な候補者がいない	候補者が折りが合わない	税制上	法令上	経営上	事務手続きが煩雑	相談先がわからない	何をすべきか不明	その他
下関	25	4	4	3	13	11	14	19	4
宇部・小野田	15	2	2	1	4	5	9	6	2
長門	3	1	1	0	1	0	0	0	1
萩	2	0	1	0	1	0	2	1	1
山口・防府	19	2	3	2	9	6	14	10	1
周南	16	0	2	1	3	8	10	8	5
柳井	7	1	1	0	3	2	7	6	0
岩国	13	4	3	0	5	4	7	7	2
記載なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	100	14	17	7	39	36	63	57	16

表9. Q6:どのような支援策があると良いか？（複数回答可）

	マッチング	相談窓口	外部専門家	税制補助支援	情報	研修会	手続き支援	紹介・斡旋	特になし	その他
下関	29	29	7	30	34	16	34	21	2	7
宇部・小野田	23	29	8	19	31	11	24	14	0	6
長門	1	0	0	2	2	0	0	2	0	1
萩	6	5	3	3	3	2	3	4	0	1
山口・防府	30	34	6	21	26	11	26	20	0	4
周南	21	19	9	22	15	4	17	13	1	5
柳井	7	8	4	5	5	4	6	7	1	2
岩国	12	16	6	11	19	6	13	17	0	1
記載なし	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	129	140	43	114	135	54	123	98	4	28

- ・医師会の中で相談できたらうれしい。年をとって斡旋の詐欺にあうのは避けたいので、業者の紹介だけでは不安。

Q7：Q2で「承継するつもりがない」と回答した方へ、その理由は（複数回答可）（表10）

Q7：「その他」の自由意見

- ・子どもが都会から帰ってこない。
- ・地理的条件（田舎）及び建物の老朽化などから、適切な後継者は見つからないものと考え、承継はあきらめている。
- ・開業医としては、自分の代だけと考えている。人事に苦勞しているので、子供に勧められない。また経営的にも魅力を感じない。機器更新も大変。
- ・今の場所（市町）で医業を行うのは、自分の代まで。
- ・「開業医としての開業は、自分の代だけと決めている」（という考え方）が正しいはず。
- ・過疎化の進む地域での承継は、子供がかわいそうである。
- ・基本的には閉院するつもりだが、譲受を希望される方がいれば考慮。
- ・生活のための開業は危険。開業医にロマンはあるが今後の医業経営は厳しいであろう。
- ・子どもは医師であるが、開業したくないと言っている。

Q8：意見要望・自由意見

- ・現在、医療環境（介護も含めて）が、大きく変化している。子（15歳）に本当に自分と同じような生き方がよいと思えるかどうか、時代の変化をみきわめてからでないと、決められない。
- ・数年後は閉院を考えている。子供に医師がいるが承継する予定なし。M&Aなどを利用して承継できればベストと考えている。
- ・田舎であるほど、承継は困難（患者数減少等）。
- ・現在地での開業は私一代。息子は県内他地区で開業予定である。
- ・10年以上先のことなので、具体的には考えて

表10. Q7：Q2で「承継するつもりがない」と回答した方へ、その理由は？（複数回答可）

Q7	自分の代だけ	子が医師ではない	適切な人がいない	税制上	法令上	経営上	事務手続きが煩雑	相談者がいない	その他
下関	4	3	8	0	0	2	0	1	2
宇部・小野田	5	4	3	0	0	1	0	0	0
長門	0	0	1	0	0	0	0	1	0
萩	0	0	2	0	0	2	1	2	2
山口・防府	2	4	2	0	0	3	1	0	2
周南	4	2	4	0	0	1	1	0	2
柳井	3	1	1	0	0	1	2	1	5
岩国	1	2	4	0	0	0	2	1	2
記載なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	19	16	25	0	0	10	7	6	15

いない。子は医師にならないので、他人に承継することになると思う。

- ・子どもが希望すれば譲るつもりだが、看護師確保に苦勞すること、人口減少が進んでいくことを考えると、勧める気にならない。
- ・医業承継の登録制度があれば、応募したい。
- ・10年近く、他の医院承継紹介サイト（m3など）を使ってきたが、全く反応なし。
- ・20数年前の開業時はにぎわっていたが、今は人口減少が著しく、医療機関経営が成立しにくい。コロナ禍の時、在宅診療も敬遠される。
- ・今後の承継は、地域ごと、専門科ごとのマーケティング調査が必要で、効率性、採算性を考慮した対策が必要。
- ・行政が行っている地域適正化計画があるように、地域医療、特に診療所配置にも適正化が必要である。
- ・銀行、M&A会社からいろいろ資料は届くが、信用できるかわからない。医師会を通しての紹介ならば安心できる。
- ・突然クリニックを閉鎖し、患者さんに迷惑をかけることは避けたい。
- ・承継したばかりだが、誰も教えてくれる人間がおらず苦勞した。銀行、コンサルタントの言いなりで、もう少し安価になったのではと思う。
- ・過疎地で、今後も人口減少が予想され、いつまで続けられるかわからない。承継したくても経営的に難しい。
- ・歯科医師会等では継承を県歯科医師会が仲介し

ているところもあり、銀行が入ったところでは渡す側も多額の支払いが必要だったと聞いている。山口は県医師会が仲介してくださると良い。

- ・コロナ禍で開業小児科の経営基盤がいかに弱いか痛感した。
- ・田舎にあり、不便のため、本当に継承者がいるか不安。従業員の確保も困難。
- ・持分なし医療法人への移行によるメリットを大きくすべき。
- ・他の中小企業のように、医業承継について相続税の軽減をしてほしい。
- ・診療に対する考え方が近い人に承継したいと思うが、そんなことを言っていれば、決まらないのかもしれないと思っている。
- ・人口減少が著しい当市では、たとえ子供が医師になっても承継は勧めない。
- ・当市は少子高齢化の最先端を突き進んでおり、今後、従業員の確保が困難となることが予想される。このような状況で医業承継はとても勧められない。
- ・開業をやめる人もいれば始める人がいるので、それぞれが気軽に相談したり登録したりできる場があるといい。
- ・子どもが継ぐ意思を待てばできる範囲で応援するが、現状から将来を見据えると、私から継ぎなさいとはとても言えない。
- ・過疎化、高齢化率の著しい地域で、今後、人がいなくなっている可能性が高い。
- ・他県では行政が熱心に地域医療の担い手を募集しているが、山口県は医師会に任せている。これでいいのか。
- ・承継がなく廃止になると、看護師の解雇、設備や薬剤などの処分も必要。また今までの患者さんの他院への紹介等、かなり実働的な労力が必要。
- ・承継をしたが、建物の建替えや機器の更新で、費用負担が結構あった。
- ・山口県に医師を定着させるという点で、廃業で買い手のつかない土地、建物を更地にし、そこに若手医師へ開業を促すようなシステムはどうだろうか。

・承継時には、それまでのスタッフへの対応も必要と考える。

7.まとめ

山口県医師会は、山口県と共同で、県内の有床・無床診療所の管理者である日本医師会 A1 会員を対象に、医業承継に関するアンケート調査を行った。

回答率は 39.2% (367/935 機関) であった。

承継を考えているのは 62.5%、「承継しない」は 15.3%、「考えていない」が 22.2% であった。「すぐにでも」を含めて、1 年以内に承継を希望するところが 6 機関あった。

承継する場合の後継者候補は、「親族」が 44.0%、「親族以外の個人」が 19.5%、「考えていない」が 27.5% であった。

「親族」と回答した理由は、「親族以外に継がせるつもりはない」が 54.8%、「親族以外に適切な候補者がいない」が 35.7% であった。

「親族以外に適切な候補者がいない」等と回答した人では、もし適切な候補者がいたら、「是非継がせたい」が 17.4%、「条件次第で継がせたい」が 76.7%、「継がせない」が 5.8% であった。

「親族以外」と答えた人で、承継で課題となることは（複数回答可）、「適切な候補者がいない」が 28.7%、「相談先がわからない」が 18.1%、「何をすべきか不明」が 16.3%、「経営上の問題がある」が 11.2%、「事務手続きが煩雑」が 10.3% であった。

良いと思われる支援策（複数回答可）は、「相談窓口の設置」が 16.1%、「情報提供」が 15.6%、「マッチング体制づくり」が 14.9%、「手続き等の支援」が 14.2%、「税制優遇・補助金等の支援」が 13.1%、「候補者の紹介・斡旋」が 11.3%、「研修会の開催」が 6.2% であった。

「承継するつもりはない」と回答した理由（複数回答可）は、「適切な承継者がいない」が 25.5%、「自分の代だけと決めている」が 19.4%、「子が医師ではない」が 16.3%、「経営上の問題がある」が 10.2% であった。

8. 結語

- 1) 約60%の診療所の管理者が承継したいと考えている。
- 2) 承継者候補は「親族」が多いが、「親族以外の個人」を考えている会員も約20%存在した。
- 3) 「親族以外」と答えた会員にとって課題となることは、「適切な候補者がいない」、「相談先がわからない」、「何をすべきか不明」等であった。
- 4) 「親族以外に適切な候補者がいない」と答えた会員でも、もし適切な後継者候補が見つければ、95%の会員が「是非継がせたい」あるいは「条件次第で継がせたい」と考えている。
- 5) 希望する支援策は、「相談窓口の設置」、「情報提供」、「マッチング体制づくり」、「手続き等の支援」、「税制優遇・補助金等の支援」等であった。

今回のアンケート調査の結果から、親族以外の後継者候補を見つけることに苦労している様子が窺える。そのため、医師会内での「相談窓口の設置」や「マッチングのための承継バンクの設立」に対する会員のニーズは高いと思われる。

以上の結果を踏まえて、県医師会は県や関係機関と連携して、事業承継に関する取組みを令和3年度の新規事業として開始する予定です。

謝辞

日々の診療におけるご多忙時、また、コロナ禍で大変な時に、当アンケート調査にご協力くださり、感謝申し上げます。

ドクターバンク (山口県医師会医師等無料職業紹介所)

医師に関する求人の申込を受理します。ただし、申込の内容が、法令違反その他不適切である場合には受理しません。

なお、医師以外に、看護師、放射線技師、栄養士、医療技術者、理学療法士、作業療法士も取扱います。

求人者又は代理人は、原則として直接当紹介所に赴いて、所定の求人票にご記入の上、お申し込みください。

ただし、直接来所できない時は、郵便でも差し支えありません。

求人申込の際には、賃金、労働時間その他の雇用条件を明示してください。

最新情報は当会ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先：山口県医師会医師等無料職業紹介所

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1

山口県医師会内ドクターバンク事務局

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527 E-mail：info@yamaguchi.med.or.jp